令和７年度　東御市まち・ひと・しごと
創生総合戦略　ＫＰＩ実績

「◎」・・・順調（実績が目標値の100%以上）　「○」・・・概ね順調（実績が目標値の99%～75%）
「△」・・・やや遅れている（実績が目標値の74%～50%）　「×」・・・遅れている（実績が目標値の49%以下）
「ー」・・・現段階では実績が表せないもの

基本目標	基本施策等	番号	KPI	基準値	最終目標値	数値目標タイプ	担当課	年度別目標／実績【上段：目標、下段：実績】				年度別目標の進捗率	進捗状況	担当所見（進捗が遅れている場合は、必ずその理由と改善策等を記載してください。）
								2025	2026	2027	2028			
基本目標１「とうみ」において安定した雇用を創出する	基本目標１数値目標		市内就業者数	14,611人（Ｒ２）	14,000人（Ｒ７）	増加	商工観光課	14,000 人	ー	ー	ー	0.0%	-	令和７年国勢調査の結果が令和８年９月以降公表予定。
									ー	ー	ー			
	Ⅳ-２暮らしを豊かにする商工業の振興	1	新規起業件数	15件（Ｒ５）	60件（Ｒ７～Ｒ10）※累計値	増加	商工観光課	15 件	30 件	45 件	60 件	133.3%	◎	
								20 件						
		2	商工会新規加入事業者数	8事業者（Ｒ５）	80事業者（Ｒ７～Ｒ10）※累計値	増加	商工観光課	20 事業者	40 事業者	60 事業者	80 事業者	135.0%	◎	
								27 事業者						
	Ⅳ-1地域の魅力を高める農林業の振興	3	市内ワイナリー数	15軒（Ｒ５）	16軒（Ｒ10）	増加	農林課	16 軒	16 軒	16 軒	16 軒	93.8%	○	新規ワイナリー開設について、費用や用地の調達等において調整が必要であり、開設予定年に数年の幅がある。新規開設希望の生産者への相談対応や支援を継続する。
								15 軒						
		4	農業経営体の法人化数	45経営体（Ｒ５）	49経営体（Ｒ10）	増加	農林課	45 経営体	46 経営体	48 経営体	49 経営体	108.9%	◎	
								49 経営体						
基本目標２「とうみ」への新しい人の流れをつくる			主要観光施設入込客数	525,120人（Ｒ４※暦年）	860,000人（Ｒ10※暦年）	増加	商工観光課	633,900 人	709,300 人	784,700 人	860,000 人	96.9%	○	コロナ禍後緩やかに回復傾向だが、目標値には届かなかった。引き続き情報発信、誘客に努める。
								614,500 人						
	基本目標２数値目標		人口の社会増減数	-29人（Ｒ５）	+174人（Ｒ７～Ｒ10）※累計値	増加	企画振興課	43 人	86 人	130 人	174 人	-58.1%	×	本市の社会増減は、外国人住民では転入超過となっているものの、日本人住民では若年層の進学・就職等による転出超過が続き、KPI達成には至らなかった。同様の傾向は長野県全体でも見られ、人口移動は雇用環境や進学先、都市部への流出など広域的要因の影響が大きい。
								-25 人						
	Ⅳ-3まちににぎわいをもたらす観光の振興	1	延べ宿泊者数	47,557人（Ｒ４※暦年）	120,400人（Ｒ10暦年）	増加	商工観光課	69,700 人	85,100 人	102,000 人	120,400 人	113.7%	◎	
								79,244 人						
	Ⅵ-1シティプロモーションの推進	2	リピーター率	68.2%（Ｒ４※暦年）	70.0%（Ｒ10暦年）	増加	商工観光課	69.0%	69.5%	70.0%	70.0%	99.4%	○	順調に伸びているが、目標値には届かなかった。引き続き、情報発信、誘客に努め再来訪につなげる。
								68.6%						
	Ⅵ-2移住・定住の促進	3	行政サポートによる移住者数	47人（Ｒ５）	60人（Ｒ10）	増加	企画振興課	48 人	50 人	55 人	60 人	75.0%	○	相談件数はあるものの、移住決定に至るまで時間を要していることが要因として挙げられる。相談者への継続的なフォローを強化するとともに、働き世代をターゲットとしたPRを展開していく。
								36 人						
基本目標３結婚・出産・子望をかなえる	基本目標３数値目標		合計特殊出生率	1.25（Ｒ５）	1.49（Ｒ10）	増加	健康推進課	1.31	1.37	1.43	1.49	86.3%	○	適齢女性人口の減少等の要因により、目標達成には至らなかった。今後も不妊、不育症治療費補助を継続し、出産を望む夫婦を支援していく。
								1.13						
	Ⅱ-1安心して子どもを産み育て、充実した時間を過ごせる環境づくり	1	「子育てしやすいまち」だと思う保護者の割合	76.8%（Ｒ５）	85.0%（Ｒ10）	増加	子ども家庭支援課	80.1%	81.7%	83.4%	85.0%	105.5%	◎	
								84.5%						

令和７年度　東御市まち・ひと・しごと
創生総合戦略　ＫＰＩ実績

「◎」・・・順調（実績が目標値の100%以上）　「○」・・・概ね順調（実績が目標値の99%～75%）
「△」・・・やや遅れている（実績が目標値の74%～50%）　「×」・・・遅れている（実績が目標値の49%以下）
「ー」・・・現段階では実績が表せないもの

基本目標	基本施策等	番号	KPI	基準値	最終目標値	数値目標タイプ	担当課	年度別目標／実績【上段：目標、下段：実績】				年度別目標の進捗率	進捗状況	担当所見（進捗が遅れている場合は、必ずその理由と改善策等を記載してください。）
								2025	2026	2027	2028			
育ての希	Ⅰ-3多様性を認め合う地域づくりの促進	2	子育てが幸せ、楽しいと感じる就学前児の保護者の割合	63.5% （Ｒ５）	65.0% （R10）	増加	子ども家庭支援課	64.1% 67.1%	64.4%	64.7%	65.0%	104.7%	◎	
基本目標４活力と魅力あふれる持続可能な地域をつくる	基本目標４数値目標		住みよいと感じる市民の割合	87.4% （Ｒ４）	90.0%以上 （Ｒ９）	増加	企画振興課	ー ー	ー ー	90.0%	ー ー	0.0%	-	東御市まちづくりアンケート（総合計画策定に伴う市民意識調査）により計測、次回は令和９年度に実施予定。
	Ⅰ-2地球温暖化対策の推進	1	市内の温室効果ガス削減量	57,454t-CO_2 （Ｒ４）	94,482t-CO_2 （R10）	増加	生活環境課	74,839 t-CO_2 72,032 t-CO_2	81,387 t-CO_2	87,934 t-CO_2	94,482 t-CO_2	96.2%	○	企業等の事業者が温室効果ガスの排出削減目標や具体的な対策を定め、長野県に提出する「事業活動温暖化対策計画」における市内企業の温室効果ガス削減量については、2023（令和5）年度の値が最新の公表値となっている。この値を基に2025（令和7）年度の実績値を推計しており、2025（令和7）年度の値が公表された際には、おおむね目標値と同等またはそれを上回る水準となることが見込まれる。
	Ⅰ-4協働による地域づくりの推進	2	「地域ビジョン」の達成のために取組んでいる事業の実施数	5事業 （Ｒ４）	10事業 （R10）	増加	地域づくり支援課	7 事業 14 事業	9 事業	10 事業	10 事業	200.0%	◎	
	Ⅲ-2誰もが生涯を通じて学び合い・実践できる環境づくり	3	文化芸術等イベントへの参加者数	44,304人 （Ｒ４）	58,000人 （R10）	増加	文化・スポーツ振興課	49,600 人 56,588 人	52,400 人	55,200 人	58,000 人	114.1%	◎	多様な世代が文化・芸術に親しむ機会の充実を図るため、参加者層の拡大や事業内容の精査が課題となっている。引き続き、市民ニーズを踏まえた展覧会やアート事業を実施し、文化・芸術に触れる機会の充実に取り組む。
		4	20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率	60.3% （Ｒ３）	65.0% （R10）	増加	文化・スポーツ振興課	62.0% 58.7%	63.0%	64.0%	65.0%	94.7%	○	多様な世代がスポーツに親しむ機会の充実を図るため、参加者層の拡大や事業内容の精査が課題となっている。引き続き、市民ニーズを踏まえた事業を実施し、スポーツに触れる機会の充実に取り組む。
	Ⅴ-1都市インフラの維持・充実	5	公共交通のべ利用者数	34,997人 （Ｒ５）	58,000人 （R10）	増加	商工観光課	52,000 人 40,180 人	56,000 人	57,000 人	58,000 人	77.3%	○	今後、利用実績やデマンド車両稼働率等を踏まえ、利用ニーズにあわせてシステムや運行体制の見直し、利用促進事業（周知広報）等を実施し、利用者の獲得を目指す。
		6	空き家バンク契約成立件数	13件 （Ｒ５）	65件 （R10）	増加	企画振興課	26 件 19 件	39 件	52 件	65 件	73.1%	△	希望者のニーズに合う物件が限られていることや、改修費用の負担により、契約に至らないケースがある。所有者への働きかけにより物件の掘り起こしを進めるとともに、移住相談や補助制度をPRして契約成立につなげていく。